科目名	7	空港到	ミ 務	ξI	В									
科目名(英)														
単位数		2単位	立		時間	引数		30時間		担当者		河野 氵	告 一	
実施年度		2023年	度		実施	時期		後期		担当者実務網		アラインのグル シンドハンドリン		
対象学科・学年	٦	ロアライン	/科(!	グラ:	ンドハント	・リングコ	コース)1年 エ	アポ	一卜科(1年誤	程)			
授業概要	2	空港地上	支援	業務	従事者と	こしての基	基礎知	口識の習行	得					
授業形態	講	義: (С	演	習:	実	習:		実担	支:	※ 主	とる形態:○	その他:△	
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他				<u>l</u>		目標				
	0				航空用語	吾を理解	し、業	界人とし	ての	会話ができ	る			
学習目標	0	0									の準備ができ	きる		
(到達目標)	0	0									を判断できる			
	0													
	0										することがで	≛ る		
テキスト・教材 参考図書					ハンドリン 各プリン		本航空	ᢓ技術協:	会出	版				
	回数				授	受業項目	・内容	F				授業外学修	指示	
	1	前期の	振り返	辺と	:貨物室(CARGO	COI	MPARTM	IENT	.)				
	2	整備業績	務(Ma	arsh	arlling•To	owing•W	ing W	atch作業	(1)					
	3	整備業績	務(Ma	arsh	arlling•To	owing•W	ing W	/atch作業	(2)					
	4	整備業績	務(Ma	arsh	arlling•To	owing•W	ing W	/atch作業	<u>(</u>)(3)					
	5	グランド	ハント	ドリン		要(航空)	用語『	TV)(1)			ITVの用語の復	 習を行う(0.5時間		
	6	グランド	ハント	ドリン	/グの概要	要(航空)	用語『	TV)(2)						
	7				ノグの概要	-			(1)		LI・CPMの用語	の復習を行う(0.	5時間)	
授業計画	8	1			/グの概要	-					授業該当箇所の	ン復習を行う(0.5	 時間)	
	9	理解度	テスト	,										
	10	Weight	&Bal	ance	(重量)						各重量について	復習を行う(0.5)	時間)	
	11	Weight	&Bal	ance	=(安定飛	 (行)					授業該当箇所の) 復習を行う(0.5	時間)	
	12	Weight	&Bal	ance	 ∋(プラン(の方法・ [,]	優先)							
	13	搭載∙取	り卸し	し作	業①									
	14	搭載∙取	い卸し	し作	業②									
	15	理解度	テスト											
	(2) (3)	定期試馬	中で理 険の実	里解』 ミ施	質問 使テストを 割合で評		0							
		-				言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合	
評価方法		-	期試		(0T)	0		0					70%	
	理	解度テス				0		0					20%	
		授業	中の	貝問]	0					0		10%	
履修上の注意	H	出席が10	回に	満た	ない場合	は、定期	胡試駁	の受験	資格:	を与えない。				

科目名	[国内舰	抗区	宣貨	物							
科目名(英)												
単位数		2単	位		時間数		30時間	担当	当者		鈴木 翁	公 剛
実施年度		2023年	F度		実施時期		後期	担当者写	ミ務経験	空港運	営会社におけ	る貨物取扱業務
対象学科・学年	J	エアライン	ノ科	(グラ	ンドハンドリング	 「コース	()1年 エブ	'ポート科(1	年課程))		
授業概要	牧	勿流にお	ける	航空	貨物の重要性を	上理解し	し、航空貨物	効業界の現	場に対応	む出来る専	∮門知識を習	得する
授業形態	講	義:	0	演 [:]	習: 5	実習:	3	実技:		※ 主た	:る形態:O	その他:△
	言語 情報	知的 運動 技能 技能		その他			l.		目標			
	0				現場業務に必要	要な航	空専門用語	の意味や	内容を理	異解し、説 に	明出来る	
学習目標	0				貨物ハンドリン	グの概	既要を理解し	、説明が出	来る			
(到達目標)	0				航空輸送におり	ける安	全の意識や	重要性を現	里解し、語	説明ができ	き る	
テキスト・教材 参考図書												
	回数				授業項	目•内?					授業外学修	 指示
	1	物流に	つい	τ								
	2	航空貨	物に	つい								
	3	国内貨										
	4				<u>-</u> バイス(ULD)の	種類と	機能につい	T				
	5	4 m . 1				12/2/	1001101000					
		特殊貨										
	7	ウェイト	گ/۱ <u>٪</u>	ランス	 、.航空機搭載記	午容重	量について					
授業計画	8	航空危	険物	につ	いて(基礎編)							
	9	安全教	育(船	亢空模	幾事故事例)							
	10	安全教	育(Ł	:	マンエラー)							
	11	安全教	育(K	YT)								
	12	物流を	取り	巻く環	境について							
	13	今後の	航空	業界	について(ディス	スカッシ	ョン)					
	14	総合演	習									
	15	総合確	認及	びテ	スト対策							
	•授	業内での	り小 っ	テスト	1回実施予定				'			
		期試験				→ _b. 6:	+==				\ \ \= \	
		ニを、以 ̄ 、D(59点			割合で評価する よる。	る。 成糸	責 評価基準	はS(90点じ	(上)、A(80点以上)、B(70点以	上)、C(60点以
						情報	知的技能	運動技	能態	度·意欲	その他	評価割合
評価方法			期詞				0			0		50%
		1.	トテス	スト			0			0		50%
履修上の注意	ㅂ	出席が1	0回(こ満た	とない場合は定	期試験	の受験資	各を与えなし	۸,			

科目名	Ħ	航空	□品質	質管	理										
科目名(英)															
単位数		1	単位		時間	数	1	5時間		担当者			河野 氵	告—	
実施年度		202	23年度		実施田	時期		後期	ŧ	旦当者実務網			のグループ1 グ業務に従事	È業にて、グラン 耳	バ
対象学科・学年	I	ニアポ	ート科	(1年	課程)				•						
授業概要		E港地 5。	也上支持	爰業矜	5従事者と	して、安	全運船	に関する	る意	識∙感性∙手	≟法を≐	学びイレ	ギュラー回過	壁能力を向上。	<u>*</u> せ
授業形態	講	義:	0	演	習:	実習	習:	5	実技	:	;	※ 主た	:る形態:○	その他:△	
	言語情報	知的 技能	運動 態度技能 意名								Ę				
	0				航空業界	での「安	全」の	考え方を	·理角	解し、安全に	こ関し [*]	ての重要	要性を説明す	ることができる	5
学習目標	0				事故のメ	カニズム	と要因	団、また事	故『	方止の概要	を理解	解し、説明	月することが	できるようにな	る
(到達目標)		0			危険予知	トレーニ	ングの	D必要性。	と手	法を理解し	、4RD	分析が	実施できるよ	こうになる	
テキスト・教材 参考図書															
	回数					業項目•	·内容					;	授業外学修	指示	
	1	安全	管理-	-般①)						授業該	当箇所の)復習を行う(0.	5時間)	
	2	安全	管理-	-般②)						授業該	当箇所の)復習を行う(0.	 5時間)	
	3		管理-								授業該	当箇所の	復習を行う(0.	 5時間)	
	4				・高所作業	きの安全	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	哭①					後習を行う(0.		
					・高所作業								後留を行う(0.9)		
	5						一月久	· 新乙			技未 認	はヨ固別の	7後百を177(0.)吋(町)	
					レーニング										
授業計画					レーニング										
	8	授業	全体0)振り:	返り 理解	度テスト									
	9														
	10														
	11														
	12														
	13														
	14														
	15														
	(2) (3)	授業 定期	試験の	理解.	度テストを・割合で評										
評価方法						言語情	報	知的技能	ŝ	運動技能	態度	・意欲	その他	評価割合	
			定期	試験		0								70%	
	理	解度	テスト	筆記	/1回)	0		0						10%	
		グル	ープワ	一 ク(2回)	0		0				0		20%	
履修上の注意	出	出席カ	『6回に	満たな	い場合は	は、定期記	試験の	受験資格	各を <u>-</u>	与えない。					

科目名	舟	抗空角	己队	食物	勿												
科目名(英)	Tı	ranspor	t of	Dang	gerous Go	ods by	Air ·	– Initial a	s pe	er the IATA I	Dangerous G	oods Trainin	g Guidance 7.4				
単位数		2単位	<u>ታ</u>		時間	数		30時間		担当者		川嶋 芽	英信				
実施年度		2023年	度		実施	時期		後期		担当者実務網	圣験 国際	 除航空貨物業	努を35年経験				
対象学科·学年	I	アライン	ノ科	(グラ	シドハン	ドリング	⊐ —	ス)1年	エア	'ポート科(14	年課程) エブ	アポート科 2年	Į.				
授業概要	し	た危険 、航空	物教	育訓	練プログ	゚ラムにイ	従い	実施する	。対	象は、危険	物航空貨物の	り上屋内・ラン	き、IATAが設計 ノプでの取り扱 旨す授業であ				
授業形態	講乳	轰: ()	演 ²	習: △	実	習:		実	支:	※ 主た	:る形態:〇	その他:△				
		知的 運動 技能	態度 意欲	その他		'		<u>'</u>		目標							
	-	0								な知識の習	得						
学習目標 (到達目標)		0						成の事前2									
(判注口馀/		0						物の輸送		<u> </u>	の報告						
		0	_							や事象などの							
-+-1 #++		-1128-1-1	_	- + -				C, IATA)	少	.物致 月 訓練	ノログラムル	40개多」証明	音で収付りる				
テキスト・教材 参考図書		│ │ │ │ │ │ │上記の4目標を達成し、IATA危険物教育訓練プログラム7.4の修了証明書を取得する オリジナル・テキストを配布する。 参考図書:航空危険物規則書第64版IATA発行JACIS邦訳2023年版															
	回数				授	業項目	•内?	容				授業外学修	指示				
	1	オリエン	テー	・ショ	ン 航空貨	[物輸送	にお	ける危険	物の	り取り扱い							
	2	危険物の	の基	礎	危険物の	適用					検習問題の解答による復習						
	3 :	危険物の	の基	.礎	危険物の	制限					練習問題の解答	答による復習					
	4 :	危険物の	の基	.礎	荷主と運	航者の行	役割	▶責任			練習問題の解	答による復習					
	5	 危険物(の基	礎	 危険物の	分類					練習問題の解答	答による復習					
	6	危険物の	の基	.礎	危険物の	包装					練習問題の解	答による復習					
1-2-4lb = 1	7 :	危険物の	の基	.礎	危険物の	マーキ	ング				練習問題の解答	答による復習					
授業計画	8 :	危険物の	の基	.礎	 危険物の	ラベリン	グ				練習問題の解答	答による復習					
	9 :	危険物の	の基	.礎	危険物の	緊急対	応				練習問題の解	答による復習					
	10	貨物搭	載前	の管	哲理 積み	込み要	件				練習問題の解答	答による復習					
	11	貨物搭	載前	の管	理 隔離	、分離、	貨物	勿室制限			練習問題の解	答による復習					
	12	貨物搭	載前	の管	理 航空	機への	搭載	の準備			練習問題の解	答による復習					
	13	航空貨	物お	よび	手荷物の	輸送					練習問題の解	答による復習					
	14 :	危険物	に係	る事	故の報告	 †					練習問題の解	答による復習					
	15	IATA資	格取	得の	ための訳	 試験対策	Ę				NCA Japan社e	-learning受講と	修了試験				
評価方法	2)期 上記	月末定期 Pの結果	試馬を次	剣を3 なのと	て練習問 実施する。 :おり評価 下)とする	する。成		評価基準	は、	S(90点以上	ː)·A(80点以	↓上)•B(70点	≅以上)・C(60				
M I IIM > J AA						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
			期試			0		0					50%				
		宿題	·レ ፣	ドー	`	0		0			0		50%				
履修上の注意	出	ぱ席率が	規定	EICÄ	満たない場	場合は、	定期	開試験の引	受験	資格を与える	ない。						

科目名	泊	厚外 均	也理	1										
科目名(英)														
単位数		2単位	立		時間数	ζ	30時間]	担当者		大岡	牧代		
実施年度		20234	丰度		実施時	期	後期		担当者実務網	圣験				
対象学科·学年	T.	アポート	·科(1年	果程)	·								
授業概要		の授業で	では、	どの		が観光				地理知識は必 、日本からの		い国々の観光地		
授業形態	講義	₹ : (O	演	習: △	実習	7:	実	技 :	※ 主力	-る形態:○	その他:△		
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標					
	0				ヨーロッパ・	アメリカ	カ・オセアニ	ア・ア	'ジア主要国の	の位置としゅと	:が把握でき	ている		
学習目標	0				上記主要国	の主要	要都市・主要	更空港	が把握できて	ている				
(到達目標)		0			世界遺産や	料理、	伝統行事な	ょど、	観光資源にな	り得るものを	·説明すること	とができる		
	0	○ 上記主要国の観光資源を1カ国につき10以上挙げることができる ○ 各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる												
		○ 各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる												
テキスト・教材 参考図書	「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト1観光地理〈国内・海外?〉」大原出版													
	回数				授業	項目・	内容				授業外学修	指示		
	1 1	観光資源	原とは	t/}	毎外観光地:	理学習	のポイント			興味・関心のあ か調べてみるこ		うな観光資源がある		
	2 1	世界六	大州と	上主張	要国/海外]	旅行関	連データの	分析			れの主要国の	位置を地図帳等で確		
	3	ヨーロッ	パの	観光	 ;資源①−イク	タリア				授業で出てきた	都市・街を地区	帳で確認し、配布す		
					····································						都市・街を地区	帳で確認し、配布す		
					· :資源③-ス·						都市・街を地区	帳で確認し、配布す		
					.資源④-イ=						都市・街を地図	帳で確認し、配布す		
	_				うりょう 1 - 資源⑤-ドィ						都市・街を地区	帳で確認し、配布す		
授業計画							マルルト			る白地図に書き 授業で出てきた). 5時間) 帳で確認し、配布す		
		-			源①-北アン					る白地図に書き	·入れること。(C			
					源②−北アン					る白地図に書き	入れること。(C			
	10 7	アメリカ	の観	光資	源③−南アン	メリカ(こ	ブラジル・ペ	ルー)	る白地図に書き	·入れること。(C). 5時間)		
	11 7	アジアの)観爿	台資 》	原①-東アジ	ア(中国	国∙台湾∙韓	国)		る白地図に書き	入れること。(C			
	12	アジアの)観爿	上資 》	原②-東南ア	ジア(タ	タイ・ベトナ.	ム)		る白地図に書き	·入れること。(C			
	13	アジアの)観光	Ł資 》	原③−南アジ	ア(イン	ノド)			授業で出てきた る白地図に書き		帳で確認し、配布す 5時間)		
	14 7	オセアニ	アの	観り	允資源−オー	ストラリ	ア			授業で出てきたる白地図に書き		帳で確認し、配布す . 5時間		
	15	主要国の	の基礎	楚デ [.]	ータと観光資	資源のる	まとめ			授業で出てきた	主要国の首都	・通貨・公用語などを をすること。(O. 5時		
評価方法	(2) [課題提と	出を1	回謂	割合で評価									
H IMA > J AA					1	語情報	-		運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
		-	期試			0	0			_		70%		
			課題			0	0			0		30%		
履修上の注意	出	席が10)回に	満た	ない場合は	は、定期	試験の受験	検資格	各を与えない。)				

科目名	į	第三	及陸」	_特殊無網	線技:	±								
科目名(英)														
単位数		0単位	立	時間数		8時間	担	当者		外部講	師			
実施年度		2023	年度	実施時期		後期	担当者	実務経験						
対象学科•学年	٦	エアライン	/科(グラ	ランドハンドリン	グコース	く)1年 エア	'ポート科(1年課程)					
授業概要		電波法及 导すること			電気通信	言の理解度	を深める。	合わせて	第三級陸	上特殊無線	の国家資格を取			
授業形態	講	義: (つ 演	習:	実習:	3	€技:		※ 主た	:る形態:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動 技能	態度 きの信	<u>t</u>		<u> </u>		目標						
	0			電波法令の目	目的(用	例の概要、	用語の定義	義)の説明	用をするこ。	とができる				
学習目標		0		無線従事者が	が知って	おくべき内容	字と役割を	認識し、	それを説明	月することが ⁻	できる			
(到達目標)		0		無線工学(電	気の基準	礎、半導体.	回路計算	[など)を I	理解し、応	用することが	できる			
		○ 第三級陸上特殊無線技士に合格することができる												
テキスト・教材 参考図書	复	第三級陸上特殊無線技士用(法規・無線工学)標準教科書 一般情報通信振興会												
<i>2.</i> 322	同粉			四坐1	百日。内容					坦 業从学修	는 규			
		授業項目・内容 授業外学修指示												
		1 養成講座受講												
	2													
	3	養成講		ь г А										
	4	養成講见	坐修「記	以 続史										
	5													
	6													
授業計画	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
	12													
	13													
	14													
	15													
	講点	を修了!	し、修了	試験に合格した	さ者は評	価「R」とす	3.							
				言	語情報	知的技能	運動技	支能 態	度·意欲	その他	評価割合			
評価方法		修	了試験		0						100%			
履修上の注意	出	出席が66	時間に満	たない場合は	、修了試	 	資格は与え	たない。						

科目名	TC	EIC	対	策	I C										
科目名(英)	TOE	IC Te	st St	trate	gies IC										
単位数		2単位	ኒ		時間数		30時間		担当者		和田 苐	を穂			
実施年度	2	023年	度		実施時期		後期		担当者実務網	圣験 外資系	航空会社にて客室	『乗務員として勤務			
対象学科・学年	エア	ライン	'科:	エア	ポート科(1年)	課程):	グローバル		ュニケーション	ノ科 ホテル・	リゾート科 1	年			
授業概要	報処 必要	理能	力を 1る英	念頭	に業務を行う りに見合った:	ことがぇ カをつけ	求められてし ナることが重	ハる [要	。限られた時 である。この打	間の中で正確	催、かつ迅速/ 語運用能力を	高いレベルの情 に対応し、社会で 測る代表的な資 く。			
授業形態	講義:	()	演	習: △	実習:		実打	支:	※ 主た	-る形態:○	その他:△			
	言語 知的情報 技能		態度 意欲	その他					目標						
学習目標 (到達目標)	社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。 社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く)														
(判足口惊/	0 0				・留守電のメ	ッセーシ	シを聞き、相	手(の用件や電話	話番号等が聞き取れる。 E英語で聞かれた時、質問が理解できる。 					
テキスト・教材 参考図書	・入国管理官に、滞在場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。 TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、メガ模試TOEIC、Listening Box for TOEIC、TOEIC書き込みドリル文法編650、はじめてのTOEIC模試、Vocabulary for Econimics, Management, and International Business他														
授業計画	2 TO 3 TO 4 TO 5 TO 6 TO 7 TO 8 TO 9 TO 10 TO 11 TO 12 TO 13 TO	EIC対 EIC対 EIC対 EIC対 EIC対 EIC対 EIC対 EIC対	策策策策策策策策策策策	Z=1 Part5 Z=1 Part5 Part5 Z=1 Part5 Z=1 Part5	授業で 复習テスト ング (OL) & Part6 文法 (& Part6 文法 (ング (OL) & Part6 文法 (ング (OL) & Part6 文法 (& Part6 文法 (代名詞 比較) 形容詞 時制) 態、不定詞))) () () () () ()			前違前違前違前違前違前違前違前違前違 前違 前違 前違 前違 前違前違前違前違	いりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりびりび	授業では、			
評価方法	(2)TOE 評価方 (3)単語 以上を	ICを 法は7 テスト 下記の 価基 定	学期 5 00 を 20 を 記 き 観は、 期試	末 取回 ま・8 S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	施し、評価とる 合で評価する O点以上)・A(8	する。 。 80点以_ 語情報 ◎	E)·B(70点 知的技	以上		レ以下も取得点 上)・D(59点レ 態度・意欲		評価割合 60%			
			EIC(語テ			0	0			0		30% 10%			
屋板 L の注音	ு ம				ナン、担合/+			×+⁄ν·	たちったい	<u> </u>		10/0			
履修上の注意	山吊	טוינע	四[一]	/両/こ	ない場合は、	化	殿の文映真	1位	と子えない。						

科目名	-	英語	食定	[2新	級対策]	С										
科目名(英)	E	IKEN Te	st St	trate	gies IC											
単位数		2単位	立		時間数		30時間		担当者		岡本	彩				
実施年度		2023年	度		実施時期	坍	後期		担当者実務	大学の研	究センターにて海外 (留学、シンポ)	外の大学との連携業務 ジウム等)				
対象学科•学年	٦	エアライン	/科	エア	ポート科(1年	課程)!	ブローバル	⊐ ≥.	ュニケーショ	ン科 ホテル	・リゾート科 1	年				
授業概要	ع	は大変	重要	である		では、社	会で必要と					語で発信するこ 能検定2級合格、				
授業形態	講	義: (0	演	習: △	実習:		実技	支:	※ 主	こる形態:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動 技能	態度意欲	その他			·		目標							
	0	0			説明、評論、なきる。(読む)	物語、随筆	筆などについ	て、	情報や考えな	どを理解したり	リ、概要や要点	をとらえることがで				
学習目標	0	0				話題につ	いて自分の)意見	見を簡潔にまと	:めて、100文字	程度の英文を	書くことができる。				
(到達目標) 	0	0			事物に関する らえることがで			討論	命などを聞いて	、情報や考えな	などを理解した	り、概要や要点をと				
	0	0									潔に話すことか らえることがで	「できる。また、説 きる。(話す)				
テキスト・教材 参考図書	亨	英検過去	問題	集												
	回数					 項目·内	 容				授業外学修:	 指示				
	1	オリエン	テー	ション	ン、英作文、	音読、デ	ィクテーシ	ョン								
	2	英検リー	ーディ	ング	(短文の語句	空所補	充)、リスニ	ング	ブ	前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
	3			-	(短文の語句					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと 前回の復習および予習を行って授業に臨むこと						
	4			-	(長文の語句											
	5			-	(長文の内容					前回の復習おる	び予習を行って	授業に臨むこと				
	6			-	(長文の内容					前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
	7				、リスニング	1 2/2	J(/ C)/ (前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
授業計画	8				、リハニング					前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
	9				、リスニング					前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
					、リスニング					前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
	<u> </u>	英検模		J.)	、リベーンソ					前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
										前回の復習お。	び予習を行って	授業に臨むこと				
	<u> </u>	英検模		471 =¥							び予習を行って					
		英検本語		孵 訳							び予習を行って					
	-	試験対策	策								び予習を行って					
	15	試験								別回の接目ので	CO 1 8 611 7 C	1文末に こうしょう				
	(2) 以上	小テストを こを下記の	を実 の観	をする 点・害	削合で評価す		以上)•B(70)点↓	以上) • C (60;	点以上)•D(5	9点以下)とす	· る 。				
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
		定	期試	験		0	0					60%				
		/]	トテス	\ -		0	0					40%				
履修上の注意	ᆸ	出席が10	回に	満た	ない場合は、	定期試	験の受験資	資格	を与えない。							

科目名	Ĭ	英語	検え	定準	€2級対策	策 I	С							
科目名(英)	Е	IKEN T	est S	Strate	egies IC									
単位数		2単	位		時間数		30時間		担当者		中山 ク	(豪		
実施年度		2023	丰度		実施時期	Я	後期		担当者実務	圣験	塾講師、英	語講師		
対象学科•学年	ı	アライ	ン科	エフ		丰課程)グローバ	:ル=	コミュニケーシ	ンョン科 ホー	テル・リゾート	斗 1年		
授業概要	15											吾で発信すること 食定準2級合格を		
授業形態	講	義:	0	演 [:]	習: △	実習	:	実	· 支:	※ 主	こる形態:〇	その他:△		
	言語情報	知的 運動技能		その他	説明、評論、		随筆などにつ	いて	目標、情報や考え		たり、概要や要	点をとらえること		
学習目標 (到達目標)	0	0			(書く)							書くことができる。		
	0	0			きる。(聞く)							とらえることがで		
	0	0												
テキスト・教材 参考図書	萝	○ □ 与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す) 英語検定準2級過去問												
	回数				授業」	項目・▷	内容				授業外学修	 指示		
	1	オリエ	ンテー	ーショ	ン									
	2	英検対	策:	大問	1(短文の語	句空所	「補充)、リス	スニ:	ング	予習、復習を	テって授業に臨む	こと。		
	3	英検対	策:	大問	1(短文の語	句空所		スニ:	ング	予習、復習を	テって授業に臨む	·こと。		
	4	英検対	策:	大問	1(短文の語	句空所	「補充)、リス	スニ:	ング	予習、復習を	テって授業に臨む	·こと。		
	5	英検対	策	大問	5(ライティン	グ)、リ	リスニング			予習、復習を	テって授業に臨む	·こと。		
	6	英検対	策	大問	2(会話文の	語句空	≌所補充)、	リス	ニング	予習、復習を	テって授業に臨む	·こと。		
	7	英検対	策	大問	2(会話文の	語句空	≌所補充)、	リス	ニング	予習、復習を	テって授業に臨む	こと。		
授業計画	8	英検対	策:	大問	5(ライティン	グ)、リ	リスニング			予習、復習を	テって授業に臨む	·こと。		
	9	英検対	策:	大問	3(長文の語	句空所	「補充)、リス	スニ:	ング	予習、復習を	テって授業に臨む	`こと。		
	10	英検対	策 :	大問	4(長文の内	容一致	 対選択)、リン	スニ:	 ング	予習、復習を	テって授業に臨む	·こと。		
		英検模								予習、復習を	テって授業に臨む			
		英検模		-							うって授業に臨む	-		
		英検本									うって授業に臨む	-		
		英検本									うって授業に臨む	-		
		授業内			<u> </u>						テって授業に臨む			
					4 1 - 2					THINGE				
	(2)/ 以上	トテスト こを下記	を実	施す 見点、	割合で評価		点以上)•B	(70,	点以上)·C(60点以上)·	D(59点以下)	とする。		
評価方法					言	語情報	日 知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合		
		-	期詞			0	0					60%		
		,	小テ ク	ベト		0	0					40%		
履修上の注意	出	出席が1	0回に	こ満 <i>†</i>	とない場合は	、単位	なを与えない	١,						

	ΓΟ	EIC	対	策	ID										
Т	OEI	СТе	st S	trate	gies ID										
	4	4単位	立		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂				
	20	23年	度		実施時期	A	後期		担当者実務組	圣験	外資系航空会社にて客室乗務員として勤務				
٦	アラ	ライン	/科	エア	 ポート科(1年	課程)	グローバ	ルコミ	ュニケーション	ノ科	ホテル・リゾート科 1年				
幸业	吸3 ひ要る	理能 とされ	力を 1る화	念頭 英語 ス	に業務を行う かに見合った	うことか 力をつ	が求められて oけることが	ている 重要	。限られた時 である。この打	間の 受業で	中で正確、かつ迅速に対応し、社会で では、英語運用能力を測る代表的な資				
講	義:	()	演 ²	習: △	実習	i:	実	支:		※ 主たる形態:○ その他:△				
言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他					目標						
0	0				•Internation。 で、大まかに	al Her 理解	ald Tribune できる。	J, [F	inancial Time	s」等					
0	0				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。										
0	0				今後取引券ターを書くこ	ことなり とがで	ノそうな相手 きる。	三に対	して、自社製	(書く) 製品を紹介・売込みのためのEメールやL					
0	0				英語の履歴	書を作	F成すること	がで	きる。(書く)						
回数					授業	項目・	内容				授業外学修指示				
1	TOE	ΕΙC莱	対策	Parl	t5&Part6 戈	法(接	接続詞)				復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
2	TOE	ΕΙC対	対策	Parl	t5&Part6 文	法(前	介置詞)				復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
3	TOE	ΕΙC対	対策	リスニ	ニング(OL)						復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
4	TOE	ΕIC対	対策	Parl	t5&Part6 戈	法(関	関係詞)				復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
5	TOE	ΕIC対	対策	Parl	t5&Part6 文	法(語	吾法)				復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
6	TOE	ΕΙC対	対策	リスニ	ニング(OL)						復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
7	TOE	ΕIC対	対策	Parl	t5&Part6 文	法(語	吾法)				復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向 習を行うこと。				
8	TOE	ΕIC対	対策	Parl	t5&Part6 文	法(語	吾法)				復習および予習を行って授業に臨むこと。 間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
9	TOE	EIC	直前 相	莫擬詞	試験 Q&A						復習および予習を行って授業に臨むこと。 間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
10	TOE	ΕΙC対	対策	Parl	t7実践問題						復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
11	TOE	EIC文	対策	Parl	t7実践問題						復習および予習を行って授業に臨むこと。 間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
12	TOE	EIC文	対策	リスニ	ニング(OL)						復習および予習を行って授業に臨むこと。 間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
13	TOE	ΕΙC対	対策	Part	t7実践問題(:	解説)					復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
14	TOE	EIC文	対策	リスニ	ニング(OL)						復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
15	TOE	ΕΙC対	対策	Parl	 t7実践問題					前回の	復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
						解説)				前回の	復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
										"					
											復習および予習を行って授業に臨むこと。間違った箇所のや 敵底的に行うこと。				
	T	TOEI	TOEIC Te 4単位 2023年	TOEIC Test S 4単位 2023年度 エアライン科 国報必格であるる人 講義 知機 知識 認識 図表	TOEIC Test Strate 4単位 2023年度 エアライン科 エア 国際処理される人べい。 演	マアライン科 エアポート科(1年 国際化が進む社会の専門性とは報処理能力を念頭に、見見いる人が、	TOEIC Test Strategies ID	TOEIC Test Strategies ID							

麻生外語観光&ブライダル専門学校 シラバス

	19 TOEIC対策 Part7実践問	題(解説)			前回の復習および予証 直しを徹底的に行うこ		こと。間違った箇所のやり						
	20 TOEIC対策 リスニング(O	L)			前回の復習および予 直しを徹底的に行うこ		こと。間違った箇所のやり						
	21 TOEIC対策 Part7実践問	 題			前回の復習および予覧 直しを徹底的に行うこ		こと。間違った箇所のやり						
	22 TOEIC対策 Part7実践問				前回の復習および予証しを徹底的に行うこ		こと。間違った箇所のやり						
	 23 TOEIC直前模擬試験 Q&	kΑ			前回の復習および予算直しを徹底的に行うこ		こと。間違った箇所のやり						
	24 Merry X'mas Entertainme	nt				-							
	25 Cover letter & Resume				USBを持参するこ	٤							
		Cover letter & Resume USBを持参すること											
		Cover letter & Resume											
	27 Cover letter & Resume												
	28 Cover letter & Resume				USBを持参するこ	ـد							
	29 Cover letter & Resume				USBを持参するこ	٤							
	30 定期試験対策 学期総括												
	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)TOEICを中間(10月)、学期 評価方法は730点取得で1009 る。 (3)単語テストを複数回実施し 以上を下記の観点・割合で評 成績評価基準は、S(90点以上	末に実施す。 6、650点取得 、評価とする。 西する。	を で 95%、 550。 。	点取得で90%									
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
	定期試験	0	0				60%						
	TOEIC	0	0				30%						
	単語テスト	0	0		0		5%						
	Cover letter&Resume提出	0	0				5%						
履修上の注意	 出席が20回に満たない場合	は、定期試験	倹の受験資格	を与えない。									

科目名	ţ	英語	吾核	立	[2≨	級対策 I	D									
科目名(英)	EI	KEN	l Tes	st Te	est S	Strategies I [)									
単位数		4	単位	Ĺ		時間数		60時間		担当者		岡本	彩			
実施年度		202	23年	度		実施時期]	後期		担当者実務網	圣験	大学の研究センターにて海タ (留学、シンポシ				
対象学科•学年	I	アラ	イン	科	エア	ポート科(1年)	課程	゜グローバル	ノコミ	ュニケーショ	ン科	ホテル・リゾート科 1:	 年			
授業概要	۲	は大	変重	[要	であ・	化社会におし る。この授業 ⁻ 00点アップを	では	、社会で必要の	報され	き考えを理解 いる実践的英	し要が語力	点をとらえることや、英 の養成と実用英語技	語で発信するこ 能検定2級合格、			
授業形態	講	轰:	C)	演 ²	習: △	実	習:	実	支:		※ 主たる形態:〇	その他:△			
	情報	知的 技能	運動 技能	態度意欲	その他	きる。(読む)					どをヨ	理解したり、概要や要点				
学習目標 (到達目標)	0	0	社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。 (書く) 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を らえることができる。(聞く)													
(F.M. F.M.	0	0							か討論	命などを聞いて	、情幸	最や考えなどを理解した	り、概要や要点をと			
	0	0			らえることができる。(聞く) 与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)											
テキスト・教材 参考図書	世界の 明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す) 英検過去問題集 日本 授業項目・内容 授業外学修指示															
	回数	回数 授業項目·内容 授業外学修指示														
	1	授業項目・内容 授業外学修指示 1 オリエンテーション、英作文、音読、ディクテーション														
	2	英検	シリー	ディ	ング	(短文の語句	空所	所補充)、リスニ	ニング	Ţ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	3	英検	シリー	ディ	ング	(短文の語句	空所	所補充)、リスニ	ニング	ブ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	4	英検	シリー	ディ	ング	(短文の語句	空剂	所補充)、リスニ	ニング	ブ		の復習および予習を行って				
	5	英検	シリー	ディ	ング	(短文の語句	空原	所補充)、リスニ	ニング	ブ		の復習および予習を行って				
	6	英検	シリー	ディ	ング	(長文の語句	空列	所補充)、リスニ	ニング	T		の復習および予習を行って				
	7	英検	シリー	ディ	ング	(長文の語句	空列	所補充)、リスニ	ニング	T		の復習および予習を行って				
	8	英検	シリー	ディ	ング	(長文の語句	空原	所補充)、リスニ	ニング	ブ		の復習および予習を行って				
	9	英検	シリー	ディ	ング	(長文の語句	空所	所補充)、リスニ	ニング	Ţ		の復習および予習を行って				
	10	英検	シリー	ディ	ング	(長文の語句	空原	所補充)、リスニ	ニング	ブ		の復習および予習を行って				
	11	英検	二次	文対:	策プ	スピーキング	/英	検筆記対策()	過去	問題)	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	12	英検	二次	文対:	策プ	スピーキング	/英	検筆記対策()	過去	問題)	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	13	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	枚選択)、リスニ	ニング	ブ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	14	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	枚選択)、リスニ	ニング	ブ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
授業計画	15	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	枚選択)、リスニ	ニング	Ţ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	16	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	枚選択)、リスニ	ニング	ブ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	17	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	枚選択)、リスニ	ニング	Ţ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	18	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	女選択)、リスニ	ニング	ブ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	19	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	枚選択)、リスニ	ニング	Ţ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	20	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一致	女選択)、リスニ	ニング	ブ	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	21	英検	シリー	ディ	ング	(長文の内容	一至	女選択)、リスニ	ニング	J	前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			
	22	英検	ライ	ティ	ング	、リスニング						の復習および予習を行って				
	23	英検	ライ	ティ	ング	、リスニング						の復習および予習を行って				
	24	英検	ライ	ティ	ング	、リスニング					前回	の復習および予習を行って	授業に臨むこと			

麻生外語観光&ブライダル専門学校 シラバス

	25	英検模試①				前回の復習およ 	び予習を行って	授業に臨むこと						
	26	英検模試②				前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと						
	27	英検模試解説				前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと						
	28	英検模試解説				前回の復習およ	び予習を行って	授業に臨むこと						
	29	英検模試解説												
	30	後期のまとめ												
	(2) / 以上	1)定期試験(筆記)を実施する。 2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 或績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。												
			言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合						
評価方法		定期試験	0	0				60%						
		小テスト	0	0				40%						
								1						
履修上の注意	出	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。												

41 = 5	英語検定準2級対策 I D														
科目名		失計	台 校	天 刀	E 각	≝2級对束	1 D								
科目名(英)	E	IKEN	Te	st S	trate	egies ID									
単位数		4.	単位	<u>Ī</u>		時間数	60時間		担当者		中山 夕	ス豪			
実施年度		202	23年	度		実施時期	後期		担当者実務網	圣験	塾講師、英	語講師			
対象学科•学年		 「アラ	イン	/科	エア		 果程)グローノ	バルコ	コミュニケーシ	ノヨン	科 ホテル・リゾート	—————— 科 1年			
授業概要	5	するこ	ことは	は大き	変重		授業では、社	会で	必要とされる		要点をとらえることや的英語力の養成と乳				
授業形態	講	義:	С)	演習	習: △ 9	実習:	実	技:	;	※ 主たる形態:〇	その他:△			
	言語 情報		運動 技能	態度意欲	その他				目標						
	0	0				説明、評論、物記ができる。(読む		ついて	、情報や考え	などを	を理解したり、概要や要	 「点をとらえること			
学習目標 (到達目標)	0	0	1				•	 }の意	気見を簡潔にま	: とめ ⁻	て、60語程度の英文を	書くことができる。			
(到年日1本/	0	□ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □													
	0	タる。(聞く) 与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また 短い文章を読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)													
テキスト・教材 参考図書	ġ														
	回数	数 授業項目·内容 授業外学修指示													
	1	オリニ	エン	テー	ーショ	 ン									
	2														
	3	英検	対領	策 :	大問	1(短文の語句)	空所補充)、リ	スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	4	英検	対領	策 :	大問	5(ライティング))、リスニング			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	5	英検	対領	策 :	大問	1(短文の語句		スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	6	英検	対領	策 〕	大問	1(短文の語句)	空所補充)、リ	スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	7	英検	対急	策 〕	大問	5(ライティング))、リスニング			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	8	英検	対急	策 〕	大問:	2(会話文の語	句空所補充)、	リス	ニング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	9	英検	対領	策 :	大問:	2(会話文の語		リス	ニング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	10	英検	対領	策 :	大問	5(ライティング)				予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	11	英検	対領	策 :	大問	3(長文の語句)	 空所補充)、リ	スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	12	英検	対贫	策 :	大問	3(長文の語句)	 空所補充)、リ	スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	13	英検	対贫	策 5	大問	5(ライティング))、リスニング			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	14	英検	対領	策 :	大問	4(長文の内容・	 一致選択)、リ	スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
授業計画	15	英検	対領	策 :	大問	4(長文の内容・	 一致選択)、リ	スニ	ング	予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	16	英検	対領		大問	5(ライティング))、リスニング	-		予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	17	TOE	.ICテ	- - スト	-概ತ	要説明 TOEIC	Part5	-		予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	18	TOE	IC F	o art	5、リ	スニング(Part2	2, 3, 4)	-		予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	19	TOE	IC F	oart!	5、リ	スニング(Part2	2, 3, 4)			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	20	TOE	IC F	o _{art}	5、リ	スニング(Part2	2, 3, 4)			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	21	TOE	IC F	² art	5、リ	スニング(Part2	2, 3, 4)			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			
	22	TOE	IC F	o _{art}	5、リ	スニング(Part2	2, 3, 4)			予習、	復習を行って授業に臨む	こと。			

麻生外語観光&ブライダル専門学校 シラバス

	23 TOEIC Part5、リスニング) (Part2, 3,	4)		予習、復習を行	って授業に臨む	こと。						
	24 TOEIC Part5、リスニング) (Part2, 3,	4)		予習、復習を行	って授業に臨む	こと。						
	25 TOEIC Part5、リスニング) (Part2, 3,	4)		予習、復習を行	って授業に臨む	こと。						
	26 TOEIC Part5、リスニング) (Part2, 3,	4)		予習、復習を行	って授業に臨む	こと。						
	27 TOEIC Part5、リスニング) (Part2, 3,	4)		予習、復習を行	って授業に臨む	こと。						
	TOEIC Part5、リスニング(Part2, 3, 4) 予習、復習を行って授業に臨むこと。												
	29 TOEIC Part5、リスニング	予習、復習を行	って授業に臨む	こと。									
	30 授業まとめ				予習、復習を行	って授業に臨む	こと。						
	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点、割合で評 成績評価基準は、S(90点以上	価する。	上)•B(70点以	从上)•C(60点	以上)·D(59,	点以下)とする) _o						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
	定期試験	0	0				60%						
	小テスト	0	0				40%						
履修上の注意	出席が20回に満たない場	合は、定期記	試験の受験資	格を与えない	ν,								

科目名	English Conversation I B													
科目名(英)	Е	nglish C	onver	satio	n I B									
単位数		2単位	立	- 1	時間	数		30時間		担当者		未	定	
実施年度		2023年	F度		実施	時期		後期		担当者実務網	経験			
対象学科・学年	Α	irport (C	ne-Y	'ear l	Program)				•					
授業概要	2	. Give st	udent	ts mo	English propre confid	dence in		g English	l					
授業形態	講	義: 4	Δ	演習	∄ : O	実 [:]	習:		実打	支:	*	主たる形態: 〇) その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的 運動技能	態度意欲		Give stud	dents m	ore c	ch proficie onfidence glish skills	e in	目標 using English				
テキスト・教材 参考図書	S	Speakout Elementary Book1												
	回数				授	業項目	•内容	\$				授業外学	修指示	
	1	Get to I	know	your	teacher						none			
	2	1.1 Nice	to m	neet y	you								I review previous lesson	
	3	1.2 Trav	/el Lig	ght									I review previous lesson	
	4	1.3 Can	I Hav	/e a (Coffee?								I review previous lesson	
	5	Teache	r's Lse	eeon	or 1.4 F	awlty To	owers	s (needs	TV/I	DVD)			I review previous lesson	
	6	1.5 Lool	kback	/tea	acher's le	sson							I review previous lesson	
授業計画	7	2.1 Join	Us										I review previous lesson	
	8	2.2 High	Flyer	rs									I review previous lesson	
	9	2.3 Wha	t Time	e Do	es It Sta	rt?							I review previous lesson	
	10	Teache	r's Le	sson	or 2.4 C	halet Gi	irl (ne	eds TV /	/ DV	D)			I review previous lesson	
	11	2.5 Lool	kback	/ Te	eacher's	lesson							l review previous lesson	
	12	3.1 Just	t Good	d Fri	ends								l review previous lesson	
	13	3.2 Big	Нарру	y Fan	nilies								I review previous lesson	
	14	Review	and P	Pract	ice for S	peaking	Test						I review previous lesson	
	15	Speakin	g Tes	st							Review pre	vious lesson mate	rial	
										on – 25% (3) 70~79); C (60		ce - 25 % 9 and below)		
						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意	欲その他	評価割合	
評価方法	-	期試験 Se				0		0			0		50%	
	<i>'</i>	小テスト	ın−cla	ass T	asks	0		0			0		50%	
履修上の注意												,		

科目名	SPI対策 I D														
科目名(英)															
単位数		2	単位	Ĺ		時間数		30時間		担当者		瀧	口/中山/1	合力/松藤	
実施年度		202	23年	F度		実施時期		後期		担当者実務網	圣験				
対象学科・学年	ı	アラ	イン	科 1	年	エアポート科(1年	課程)							
授業概要	7	7の応	用問	引題	に取	で実施をされるう り組んでいく。この WEBテストの四則	り授第	業では、育	前期(こ学んだ解き	方を活用	制して	、制限時間内		
授業形態	講	義:	C)	演	習: 実	習:		実技	支:	*	主た	:る形態:〇	その他: △	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他			J		目標	Į				
		0				前期に学んだ解	き方を	を用いて	、応月	用問題を解く	ことがで	きる。			
学習目標		0				計算時間を短縮	する	工夫を学	び、	目標時間内に	こ問題を	解くこ	とができる。		
(到達目標)		0				四則逆算の問題	を制	限時間内	に、	目標数解くこ	とができ	きる。			
テキスト・教材 参考図書	Γ														
	回数	_{回数}													
	1	対象 技条項目・内谷 技条が子修作が 大条が子修作が 大条がみ 大を持ち 大を持ち													
	2														
	3														
	4	推論	10.	四貝	川逆算	 算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	5	推論	2 .	四貝	川逆算	 算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	6	推論	3 ,	四貝	川逆算	章					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
1호 왕 라.다.	7	後期	前半	±の	まと	ħ					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
授業計画	8	■中	間ラ	ースト											
	9	図表	の詩	たみ!	取り(①、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	10	図表	の詩	売み	取り(テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	11	模擬	試影	食問	題①	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	12	模擬	試影	食問	題①	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	13	模擬	経試験	食問	題②	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	14	模擬	試影	食問	題②	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	15	後期	後半	±တ	まと	か、後期試験対策	Ţ								
						間テスト (3)出 割合かで評価を									
評価方法						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•	意欲	その他	評価割合	
	定期試験 ◎ ○ 80%												80%		
	中間テスト © 0 10%												10%		
			出	席状	況						0			10%	
履修上の注意	出席状況 O 10% 出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。														

科目名	SPI対策 I E														
科目名(英)															
単位数		2	単位		時間数		30時間		担当者		瀧口/中山/	合力/松藤			
実施年度		202	23年度		実施時期		後期		担当者実務	圣験					
対象学科·学年	ı	アラ	イン科 1	年	エアポート科(1年	課程)								
授業概要	7	7の応	用問題	に取	で実施をされるテ り組んでいく。この WEBテストの四則)授第	美では、前	期に	二学んだ解き	方を活用し	て、制限時間に	、SPIの頻出テー 内に正解を導き出			
授業形態	講	義:	0	演	習: 実	習:		実打	支 :	* =	Eたる形態: O	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 態度 技能 意欲	その他					目標	į					
		0			前期に学んだ解	き方を	を用いて、	応月	月問題を解く	ことができ	5 .				
学習目標		計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。 四則逆算の問題を制限時間内に、日標物解くことができる。													
(到達目標)		○ 四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。													
テキスト・教材 参考図書	Γ	「最新最強のSPIクリア問題集 24年度版」(成美堂出版)													
	回数	数 授業項目·内容 授業外学修指示													
	1														
	2	場合	の数、値	在率、	四則逆算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	3	分割	払いと割	割合、	、四則逆算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	4	推論	①、四月	川逆	 第					テキストの該	 当部分の復習(0.	5時間)			
	5	推論	②、四月	川逆	 算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	6	推論	③、四月	川逆의	算 第					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
₩-1 	7	後期	前半の	まと	ø					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
授業計画	8	■中	間テスト												
	9	図表	の読み	取り	①、四則逆算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	10	図表	の読み	取り						テキストの該	当部分の復習(O.	5時間)			
	11	模擬	試験問	題①	、四則逆算					テキストの該	 当部分の復習(0.	5時間)			
	12	模擬	試験問	題①	、四則逆算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	13	模擬	試験問	題②	、四則逆算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	14	模擬	試験問	題②	、四則逆算					テキストの該	当部分の復習(0.	5時間)			
	15	後期	後半の	まと	め、後期試験対策	;									
					中間テスト (3)出ル 割合かで評価をで										
評価方法					言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意德	次その他	評価割合			
			定期試	験			0			0		80%			
			中間テ	スト			0			0		10%			
			出席状	況						0		10%			
履修上の注意	出	は席が	10回に	:満#	とない場合は、定類	期試	験の受験	資格	を与えない。)					

科目名	SPI対策 I F														
科目名(英)															
単位数		2	単位	Ĺ		時間数		30時間		担当者		瀧	口/中山/1	合力/松藤	
実施年度		202	23年	F度		実施時期		後期		担当者実務網	圣験				
対象学科·学年	ı	アラ	イン	科 1	年	エアポート科(1年	課程)	•						
授業概要	7	7の応	用問	引題	に取	で実施をされるう り組んでいく。この WEBテストの四則	り授業	業では、育	か期(こ学んだ解き	方を活用	制して	、制限時間内		
授業形態	講	義:	C)	演 ²	習: 実	習:		実技	支 :	*	主た	:る形態:〇	その他: △	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他					目標	Ę				
		0				前期に学んだ解	き方	を用いて	、応月	用問題を解く	ことがで	きる。			
学習目標		0				計算時間を短縮	する:	工夫を学	び、	目標時間内に	こ問題を	解くこ	とができる。		
(到達目標)		0				四則逆算の問題	を制	限時間内	に、	目標数解くこ	とができ	きる。			
テキスト・教材 参考図書	Γ														
	回数	_{回数}													
	1	1 仕事算、損益算、四則逆算 テキストの該当部分の復習(0.5時間)													
	2														
	3	分割	払し	اح،	割合、	四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	4	推論		四貝	川逆算	章					テキストの	の該当部	部分の復習(O.	5時間)	
	5	推論	i2.	四貝	川逆算	 算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	6	推論	3 .	四貝	川逆算	算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
1 m site = 1	7	後期	前半	±の	まと	ħ					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
授業計画	8	■中	間っ	ースト											
	9	図表	の詩	売み	取り(テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	10	図表	の詩	売み	取り(テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	11	模擬	経試験	食問	題①	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	12	模擬	試影	食問	題①	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	13	模擬	試影	食問	題②	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	14	模擬	試影	食問	題②	、四則逆算					テキストの	の該当部	部分の復習(0.	5時間)	
	15	後期	後半	±の	まと	か、後期試験対策	ţ								
						間テスト (3)出 割合かで評価を									
評価方法						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•	意欲	その他	評価割合	
	定期試験 ◎ ○ 80%												80%		
	中間テスト © 0 10%												10%		
			出	席状	況						0			10%	
履修上の注意	出席状況 O 10% 10%														

科目名	Pov	PowerPoint													
科目名(英)															
単位数	2	2単位		時間数	ξ .	30時間		担当者		未定					
実施年度	20	23年度		実施時:	期	後期		担当者実務網	圣験						
対象学科・学年	エアオ	ポート科	(1年	課程) エア	ポート科	2年									
授業概要	パワ-	ーポイン	卜作月	えの技術を身	∤に付け、	. 作成したノ	パワ-	ーポイントをイ	吏いプレゼン	テーションを彳	ゔゔ。				
授業形態	講義:	Δ	演	習: 0	実習:		実技	է ։	※ 主	たる形態:〇	その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語 知的情報 技能	運動 態度 意名		アニメーショ	アート・ワョンの設定	フードアート 定・画面のも	辺りを	目標 入と加工が 替えができる	できる。						
		○ 画像の加工とマルチメディアの活用ができる。 △ ○ 作成したパワーポイントを使ってプレセンテーションができる。													
テキスト・教材 参考図書	プリン														
授業計画	2 新し 3 図さ 4 図さ 5 図え 6 特別 7 印刷 8 スラ 9 プレ 10 オリ 11 オリ 12 オリ 13 オリ	いプレータオブジ 長、効 関 イドンナ ナ ナ ナ ナ ナ ナ ル ル ル ル ル ル ル ル ル ル ル ル ル	ゼェェス 設機 ーーププププププトト表定能 キョゼゼゼゼゼ	で で ののので けい とう とう で かい	作成・プレス 集・製 大人 で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	レセンテーション レゼンテーシ トや画像の 、テキストポーメーション? 題提出) 、機能・デー	/ョン)挿ブ 効果	の流れ (他 ス他		授業外学修	指示				
評価方法	以上を一成績評値	下記の観	記点・書 は、S (上 是出	割合で評価で (90点以上)	ける。	以上)、B	(70片	と作品の提展以上)、C(運動技能		D (59点以下) その他	とする。 評価割合 50% 50%				
履修上の注意				ない場合は	単位を与	えない。				1	1				

科目名	++	ァリア	゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚	ゲインΒ											
科目名(英)															
単位数	2	2単位		時間数	30時間		担当者		三笘 秀	一郎					
実施年度	20	23年度		実施時期	後期		担当者実務網	圣験							
対象学科・学年	エアオ	ポート科	(1年記	果程)		•		·							
授業概要	② 就 ③ 求	職試験 職票を	に向け 提出し	り発表会においた た必要な準備の 、求職票受付面持 の業界・職種研	仕方を学び、 接に合格する。	期限1	内に必要な行 できる。	う動をとること	ができる。						
授業形態	講義:	Δ	演	習: 〇 実	習:	実技	ξ:	※ 主た	る形態:〇	その他:△					
	言語 知的情報 技能	運動 態 技能 意					目標								
	0)	東京研修振り返	り発表会にて、	資料	作成をし発	表することがで	できる 。						
学習目標	○ 就職試験に向けた準備の仕方を理解し、必要な準備を期限内にすることができる。														
(到達目標)	0														
		〇 〇 就職面接時の立ち居振る舞い、発言方法の基本を理解し、行動できる。													
テキスト・教材 参考図書	なし	なし													
	回数			授業項目		;	授業外学修持	指示							
	1 就職活動準備期の過ごし方/後期委員会決め														
	2 就單	プ勝曹の書き方を復習しておくこと(1時間)													
	3 求職	Z 税収/占到科ルスル/ 水収示文刊 田技(収安/ 日CPRTF)以													
	4 1 • 2	2年生3	を流会					質問内容を事前	に準備すること。	,(1時間)					
	5 自己	3PR作	成/求	職票の書き方				自己PRとして活 おくこと。(1時間)		エピソードをまとめて					
	6 就單	戦実務	一求	職票受付面接で	よく聞かれる質	質問复	集を確認		練習を行い、次[回までに改善させて					
र्मा और = । ==	7 就單	戦実務	一自	己PRの作成(自	己PRのメイン・	テー;	で考える)		練習を行い、次[回までに改善させて					
授業計画	8 就單	戦実務	一自	己PRの作成(テ	ーマに合うエヒ	_Ŝ ソー	ドを考える)		練習を行い、次[回までに改善させて					
	9 就職	戦実務	— 面	接練習の受け方	・入退室の確	認			練習を行い、次[回までに改善させて					
	10 面接	接練習	一 自	己PR					練習を行い、次[回までに改善させて					
	11 面接	接練習	— 志	望動機					練習を行い、次[回までに改善させて					
	12 面接	接練習	一 自	身の強みについ				指導された点は	練習を行い、次[回までに改善させて					
	13 求職	哉票受付	寸面接					おくこと。(1時間) 指導された点は? おくこと。(1時間)	練習を行い、次[回までに改善させて					
				識活動スケジュ-	 ール、活動ル -	ールの)確認	のくこと。(「時間)							
	15 就單	戦実務	一企	 :業説明会の受け	 方、質問の仕	方の	確認								
	以上をヿ	下記の勧	観点・害	合否 (2)作文を 引合で評価する。 90点以上)・A(80						る 。					
				言語情	報 知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
評価方法	提出物 〇 〇 40%														
	才	さ 職票受		妾	0			0		40%					
		作	文					0		10%					
履修上の注意															

科目名	(GCB II												
科目名(英)	G	iloba	l Cit	izen	Bas	ic II								
単位数		1	単位	立		時間	間数		15時間]	担当者		三笘 秀	一郎
実施年度		20	234	丰度		実施	時期		後期		担当者実務	経験		
対象学科・学年	ı	アオ	-, -,	科(1年	课 程)								
授業概要	Į Į	きえる ハそ	る。 夢 のビ	を実	現って	rるため 強い信念	こは「行動	する 自分	る力」がず	と要と	なるが、その	ためには具	体的に言語化	ち"志"について にてビジョンに でくという事を学
授業形態	講	義:	()	演 [:]	習:	実習	習:		実	技:	※ 主	たる形態:〇	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語報	知的技能	運動技能	態度欲	その他	自らの表	考えを積極	驱的(こ発表す	- るこ	目標とができる			
テキスト・教材 参考図書	5	ブロー	-/ \ /	レシー	ティス	ベーシ	レック Ⅱ 志	の教	数育(学 <u></u>	生用力	テキスト)			
授業計画	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	グロの自伝伝え	かを取られる。	取り巻 いる かを き た た た	対環 学ぶ 学ぶ 学ぶ え方	バズンと"; 境を知る I 〜プレ・ II 〜グル 〜プロフ に学ぶ〜		D中の レヨン レニケ ルと むけ	の日本・I /~ /一ション: :は~	<i>y</i> ~	O中の私~	振返りレポート 振返りレポート 振返りレポート 振返りレポート 振返りレポート	の作成(1時間) の作成(1時間) の作成(1時間) の作成(1時間) の作成(1時間) の作成(1時間)	指示
評価方法	(1)し (2)揖	15 (1)レポートを8回実施する (2)最後の授業で発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。 言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合												
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格となる。													